



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきき 自分から~

平成30年3月1日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.13

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

年間の「節目」に

ようやく新芽の芽吹く頃となり、日一日と春の足音が近付いてきました。

テレビでは、連日オリンピックで活躍する選手の様子を伝えており、世界で通用する選手の並々ならぬ努力の素晴らしさに、思わず胸の熱くなる思いのする毎日です。



【「感謝の会」で
地域の方にお渡ししたヒヤシンス】

1月後半から2月にかけて、北陸地方や北日本では記録的な豪雪になりました。舞鶴でも予想以上の大雪が降り、保護者や地域の方々におかれましても、家の周りの雪かきに大変な思いをされたのではないかと拝察いたします。本校の敷地内においては、早くから菱田組様が大型除雪機を稼働してくださり、児童昇降口までの通路や職員駐車場の雪かきをお世話になりました。また、学校から放課後児童クラブまでの通路については、岡田由里の松山自動車様に雪かきをお世話になりました。

それぞれの地域におきましては、区長様や地域委員様を始め大変多くの方々に、早朝より通学路の雪かきをしていただき、子どもたちが安全に登校できましたこと、心よりお礼申し上げます。また、岡田上バスや岡田中バスの運行協議会や運転手の方々には、凍結や積雪という道路状況の悪中、授業が始まるまでに子どもたちを無事に学校まで送っていただき、大変感謝しております。地域の協力があってこそその学校だと、また改めて感じる機会となりました。ありがとうございました。

先日、「感謝の会」と「6年生を送る会」を開催しました。

「感謝の会」では、この1年間にお世話になった地域の方々に感謝の気持ちを表そうと、それぞれの学年で感謝状を書き、ヒヤシンスの花とともに学年代表が渡しました。また、引き続き実施した「6年生を送る会」では、子どもたちが学年ごとに劇や歌・合奏を披露し、この1年間の成長の様子を見ていただきました。どの学年も真剣に発表をする姿が見え、今まで先生や子どもたち同士で話し合ったり練習を繰り返したりして、このステージを創り上げたことがよく感じられました。本当に素晴らしい子どもたちに成長したことをうれしく思います。

今年度も残すところ1か月となり、どの学年も1年間のまとめに取り組んでいます。6年生にとっては「卒業」という大きな節目を迎えます。一人一人が自分の成長の足跡をしっかりと見つめ、4月からの新しいスタートに向けて目標を持ってもらいたいと願います。テレビでは、惜しくもメダルを取れなかったあるオリンピック選手が、「自分自身をもう一度見つめ直します。」とインタビューで語っていました。この言葉を聞いて、やはり人が着実に成長するには、この「節目節目」の振り返りが大切なのだとしみじみ感じました。

しかし、子どもたちはまだ自分を客観視する力が弱く、一人で考えてもなかなか自分の成長は自覚できにくいものです。そのため、周りの大人が子どもに語ってやるのが大切だと思います。この3月、「節目」をしっかりとしたものにし、新しい学年に新たな目標を強く持つことができるよう、ご家庭において子どもと一緒に1年間を振り返っていただきますよう、よろしく願いいたします。



小中一貫で子どもを育てる・⑫
戻りくなった自分確かめる

の生活や遊びを思い出しながら、自分が成長したことに驚き、自分の成長を支えてくださった保育園の先生方に感謝の気持ちを感じることができました。

校長 羽賀 玲子 教職員一同

2月21日(水)、2年生が岡田保育園へ見学に行きました。そこで、子どもたちは小さい頃



【保育園の小さなイスに座る2年生】